

## 豊かさの意味、再考

大阪大学 総長 鷺田 清一

人びとのニーズに応え、人びとがこんなものが欲しいと願うものを生産することを超えて、人びとの欲望そのものを開拓し、社会のニーズそのものを生産することに腐心してきた現代社会。欲望とニーズがはてしなく増殖してゆくその過程で、この社会においてほんとうになくてはならないもの、あってもよいがなくてもよいもの、そして端的になくてよいものの区別がつかなくなっている。そう、価値の遠近法といったものが見えなくなっている。

欲望の充足ということが幸福の条件である、少しでも多くの満足。--人類がそう考えてめがけてきた「豊かな生活」の、その豊かさの意味をあらためて考えなおしつつ、「足りない」ことの意味、「足らざるに足るを感じる」ことの意味を考える。